

令和2年5月22日

保護者様

磐田市立青城小学校長 萩原 直人

学校再開に伴うお知らせ

5月25日(月)より磐田市内一斉で学校再開となります。本校においても「学校における新型コロナウイルス感染症対策磐田ガイドライン」に準じて、下記のように感染防止対策を強化し教育活動を再開していきます。

また、臨時休業による授業時数の確保のため、年間の教育計画を変更しました。現時点で決定した内容についてお知らせします。御理解、御協力の程、よろしくお願いいたします。

記

1 新型コロナウイルス感染防止対策と予防について

【はじめに】

学校における感染リスクをゼロにするという前提に立つ限り、学校に子どもが通うことは困難であり、このような状態が長期間続けば、子どもの学びの保障や心身の健康などに関して深刻な問題が生じることとなります。社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、その上で、子どもの健やかな学びを保障することとの両立を図るため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減し教育活動を開始することとなりました。

文部科学省：新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について（通知）より

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策

ア 原則

- 発熱等風邪症状のある児童をはじめ、疑わしき事案については、原則として出席停止とすることにより、児童同士及び教職員との接触を避けます。
- 集団感染の発生リスクを下げるための3原則(感染源を絶つこと、感染経路を絶つこと、抵抗力を高めること)を守り、リスクの高い3条件(換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発生をする密接場面)が同時に重なる場を避けた環境づくりをします。
- 感染者・濃厚接触者等に対する偏見や差別につながるような言動がないようにします。

イ 発熱等の風邪症状のある児童等の出席停止の徹底をします。

- 保護者の皆様には、土・日を含め、毎朝、家庭で検温と体調確認を確実にお願いします。発熱、咳、喉の痛みなどの症状がある場合は、症状がなくなるまで(主要症状が消失した後、一日以上経過するまで)自宅で休養させてください。**
- 本読みカード等を利用して家庭での様子を把握し、児童の健康状態を共有します。検温せずに登校した児童については、登校後直ちに検温を行うとともに風邪症状の確認をします。

ウ その他の対策

- 日常の手洗い、うがいの指導に加え、2校時終了時、全校一斉に手洗い、うがいタイムを設け実践の徹底を図ります。

- ・ 学校給食については、給食当番の健康チェック、手洗いの指導徹底、間隔をとった配膳、向かい合わせにならない机の配置等、工夫して実施します。
- ・ リスクの高い3条件が同時に重ならないようトイレや水道の使用方法を指導徹底します。

※上記以外にも感染症対策の強化をしていきます。強化策については、「学校における新型コロナウイルス感染症対策磐田ガイドライン」に準じて取り組んでいきます。

(2) 感染症の予防のお願い

- ・ 十分な睡眠・適度な運動・バランスの取れた食事を心掛けてください。
- ・ 外出先からの帰宅時や食事の前後、トイレ後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後などに、こまめに石けんで手を洗ってください。
- ・ 家族全員で、できるだけ人混みへの外出は控えてください。
- ・ 登校する際は、マスクの着用をお願いします。

※これから暑い日が続くようになり、熱中症対策も必要になってきます。学校としてそのようなかで教育活動を行っていくためには、様々な対応策を講じますが、それを確実に実践するためにも、『一人一人の健康管理への意識を高めること』が大切だと考えています。学校と家庭が一つになり子どもたちの、そしてチーム青城全員の健康を守っていきたく思います。御理解と御協力をよろしくをお願いします。

2 教育計画の変更

(1) 長期休業期間

- ・ 夏季休業日（夏休み） 8月 5日(水) から 8月 25日(火) 21日間
- ・ 冬季休業日（冬休み） 12月 26日(土) から 1月 4日(月) 10日間
- ・ 学年末休業日(春休み) 3月 20日(土) から 3月 31日(水) 12日間

(2) 土曜日授業

今後、年間で数回土曜日授業を予定しています。日程が決まり次第お知らせします。

(3) 日課

これまで、朝の活動は、朝読書、朝の会を行っていましたが、朝の8時20分から8時35分をモジュール学習の時間とします。モジュール学習を行うことにより、授業時数の確保をし学習内容を履修できるようにします。モジュール学習とは、通常45分の授業を15分ごとの3つに分けた学習のことです。組み合わせの工夫により15分から60分の授業を行うことができ、短時間で集中して学んだり長時間でじっくり活動できるようにしたりすることが可能になります。モジュール学習により一層の学びの定着をねらいます。

※この文書は、5月22日現在における内容です。今後の状況によっては、変更する場合があります。

担当教頭
(小林)

電話 35-4128